

補正予算を可決

一般会計に28億円を追加

平成18年第2回花巻市議会定例会（6月定例会）が、6月9日に招集され、27日までの19日間の会期で開かれました。この定例会では、政策的経費や新規事業を中心に編成された平成18年度一般会計補正予算、平成17年度水道事業会計決算、各種条例の制定、人事案件などの市長提案案件のほか、議員提案による発議案1件、意見書案2件を審議。その結果、すべての議案を原案のとおり可決しました。また、一般質問では、23人の議員が登壇し、市政をただしました。

政策的経費・新規事業

当初予算への肉付け予算として補正

一般会計総額
442億5,300万円に

平成18年度花巻市一般会計補正予算（第1号）を原案のとおり可決しました。本補正予算は、旧市町からの引き継ぎ事項、新市建設計画に位置付けられた事業、市長のマニフェスト関連事業などを中心に、当初の骨格予算に対する肉付け予算として補正されたもので、歳入歳出予算にそれぞれ2億8,482万7千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ442億5,877万2千円としました。歳出における主なものは、東和総合支所建設に係る設計調査委託料及び用地取得費等7,945万9千円、行政評価システム導入事業費1,028万円、地域づくり支援事業費900万円、環境基本計画策定事業費313万2千円、大迫地区の中心市街地活性化施設整備事業

3億3,332万2千円、住宅建設費2億6,349万2千円、小学校4校の耐震補強工事1億6,866万6千円、中学校建設費4億2,622万5千円などです。なお、補正予算審査のために設置された予算特別委員会（菊池清喜委員長、山影義一副委員長）での主な質疑の内容は、次ページに掲載しています。

介護保険特別会計を補正

平成18年度花巻市介護保険特別会計補正予算（第1号）を原案のとおり可決しました。本補正予算により、歳入歳出予算にそれぞれ76万2千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ67億3,670万4千円としました。



議員との意見交換会での大石市長

や市民活動に対して助成をするというものである。補助額は上限30万円、補助率は4分の3以内という内容である。

環境基本計画策定業務委託料の内容

環境基本計画策定支援業務委託料の具体的な内容について伺う。
A 環境基本条例に明記している環境基本計画を策定するものである。スケジュールとしては、本年度から2カ年度を予定しており、本補正予算に計上しているのは、市民や各事業所の意識調査等に係る経費である。

中学校の地震に対する安全対策

中学校建設において、今年度から西南中学校、

2億500万円、旧石鳥谷町が1億4,521万3千円、旧東和町が3億6,415万円となっている。旧市町間の隔たりについては、単年度でみれば差があるのは事実だが、ここ数年間で均衡ある整備が行われると考える。

石鳥谷中学校新築に向けての事業が始まるわけだが、新築されるまでの間の地震に対する安全対策について伺う。
A 西南中学校、石鳥谷中学校については、改築に向けた耐力度調査を行ったところであり、今の校舎が地震で倒壊することとは考えられない。順次補強・改修をしながら維持管理を図り、できるだけ早期に学校建設に向けて取り組んでいきたい。

予算特別委員会

～主な質疑～

コミュニティFMの利活用と支援

Q コミュニティFMの本市における利活用及び支援方法について伺う。
A 利活用については、災害時の情報確保手段として利用すること等が考えられる。支援については、現在、青年会議所内に開局に向けた調査研究組織が立ち上がろうとし

ており、そちらの調査研究に支援していく考えである。

行政評価システム事業費の内容

Q 行政評価システム導入事業費の内容について伺う。
A システム導入のため、専門機関に委託して行う職員研修会開催経費

地域づくり支援事業の概要

Q 地域づくり支援事業の概要について伺う。
A 住みよい地域づくりを目指して、市民が知恵を出し合い、創意と工夫による特色ある地域活動

道路整備における旧市町間の均衡

Q 道路新設改良費における本補正後の総事業費の旧市町ごとの配分を伺う。また、本補正で旧市町間の隔たりが解消されたと考えるか。
A 道路整備事業全体で、旧花巻市が11億7,044万8千円、旧大迫町が



早急な建て替えが望まれる西南中学校



「おじゃまします！市長です！」（石鳥谷町八幡公民館）